

議案の紹介

今定例会に提出された議案23件のうち22議案が可決され、成立しました(8面をご覧ください)。以下、成立した議案の一部を紹介いたします。

平成二十年度補正予算
一般会計(補正予算項目)
宮城県から本市へ宮城陸上競技場施設が無償譲渡されるのに伴い、仙台市陸上競技場開設のための備品購入等を行うとともに県が過去に改修した際の県債に係る未償還額について本市が一括全額負担するため二億二千三百八十六万を支出するもの併せて、施設の運営管理を指定

管理者に行わせるため、一億八千八百万円から四億七千八百万円に債務負担行為の限度額を補正するもの
子育てふれあいプラザ泉中央の運営管理を指定管理者に行わせるため、平成二十一年度から二十三年度までの期間で、一億八千二百万円を限度額に債務負担行為を設定するもの
企業会計(補正予算の概況)
本年八月に予定している料金改定によるガス売上の減額、及び今般取りまとめた「仙台市ガス事業民営化計画」に沿って、今後事業継承者の公募を進めていくための経費等について所要の予算措置を行うもの
料金改定によるガス売上の減額
四千五百八十八万円
民営化推進業務関連経費の増額
一億二千九百万円

・右記に伴う消費税額の減額
八百三十二万四千円
条例など
スポーツ施設条例の一部を改正する条例
仙台市陸上競技場を設置するとともに、同競技場の利用に係る料金を指定管理者の収入として收受させることとするもの
子育てふれあいプラザ条例の一部を改正する条例
子育てふれあいプラザ泉中央を設置するとともに、同プラザにおいて子育てに関する事業を行う者等に対する交流、発表その他の活動の場の提供に関する事業を行うこととする等のもの
地区計画の区域における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
東北大学青葉山新キャンパス地区計画及び卸町地区計画の区域

内の建築物に関する制限を定めるとともに、あすと長町中央地区計画の区域内の建築物に関する制限の内容を変更するもの
消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
「非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令」の改正に伴い配偶者以外の扶養親族に係る補償基礎額の加算額を改定するとともに、「株式会社日本政策金融公庫法」の制定に伴い所要の規定整備を行うもの
ガス供給条例の一部を改正する条例
基準単位料金を改定するとともに、調整単位料金の適用基準を変更するもの
工事委託契約の締結に関する件
都市計画道路宮沢根白石線(南鍛冶町区)(仮称)南鍛冶町二線橋新設工事



荒町小の改築予想図

工事請負契約の締結に関する件
仙台市立荒町小学校校舎及び屋内運動場増改築工事
工事請負契約の締結に関する件
仙台市鶴ヶ谷第一市営住宅団地再整備事業第一工区建設工事負担付きの贈与の受領に関する件
宮城陸上競技場の整備のために起債された地方債の未償還元金相当額の支払を負担とする同競技場施設の贈与を受けるもの
公有水面埋立てに係る意見に関する件

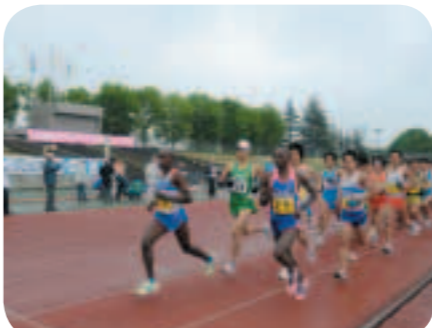
仙台塩釜港仙台区内の公有水面の埋立てに關し、異議がない旨の意見を述べたもの
専決処分事項に関する件
仙台市市税条例等の一部を改正する条例
「地方税法」の改正を考慮し、独立行政法人以外の公益法人等及び法人でない団又は財団で収益事業を行うものに係る法人の市民税の均等割の税率を改定するとともに、同法の改正に伴い所要の規定整備を行うもの
人事
資産等公開審査会の委員の委嘱
吉原 和志 桑村 裕美子
村松 敦子 三本菅 和史
小野 京子
人権擁護委員候補者の推薦
菊地 輝代 土井 浩之
吉岡 寛 佐藤 鐵城
中井 裕子

改革ネット・民

齋藤 範夫 議員

問 昨年閉館したこども宇宙館の施設を活用して整備される、子育てふれあいプラザ泉中央は、立地条件や地域特性を生かし、新しい時代に即した子育て支援施設にすべき。
答 三階部分では、乳幼児をもつ親に対する支援を行い、四階と五階では、子育てに関連する市民

活動等への支援や中高生への活動の場の提供、さらに活動発表の場としてのホルルの貸出等を行うこととしている。また、複合施設である泉図書館の子供図書室が二階に移転し、内容も充実する。
このような多様な機能がお互いに連携しあつて、子育て世代と青少年、子育て支援団体等の多様な世代が交流する、本施設ならではの特色ある整備を行う。
宮城陸上競技場の改修について
問 現地調査をしたところ、不良箇所や老朽箇所が見えられたが、譲渡前に県に対して改善を求めべきでは。
答 来年四月に本市の管理が開始されると同時に、引き続き支障なく施設が利用できるよう準備を



県から無償譲渡される宮城陸上競技場(仙台国際ハーフマラソン大会の様子)

進めていく。不良箇所等の状況を詳細に確認の上、対処が必要と判断されるものについては、県に申し入れてまいりたい。
その他の主な質疑項目
ガス事業の民営化
保守契約の待機児童対策
工事契約制度の見直し
エル・ソーラ仙台の見直し
消防の広域化
岩手・宮城内陸地震への対応

代表質疑

きぼう

庄司 俊充 議員

問 これから迎える都市間競争の中で、自動車関連会社等、数百家の進出による経済効果は大変大きい。道路を含め環境インフラ整備は急務と考えるが対応を伺う。
答 道路等のインフラ整備に加え、これらを活用し物流機能の強化を図ることが、全国あるいは世界の企業の投資意欲を高める

問 こども宇宙館の施設を利用したのびすく泉中央の整備や妊婦健診助成の大幅な拡大など、子育て支援の施策の強化とかが、今後の少子化対策、子育て支援の施策について伺う。
答 少子化傾向が続く中、「仙台市すこやか子育てプラン」の目標達成に向け引き続き努力するとともに、子育て家庭の負担や不安の軽減を図る効果的な施策に取り組んでいきたい。
また、来年度策定する「(仮称)



平成15年度に開設した子育て支援拠点施設「のびすく仙台」

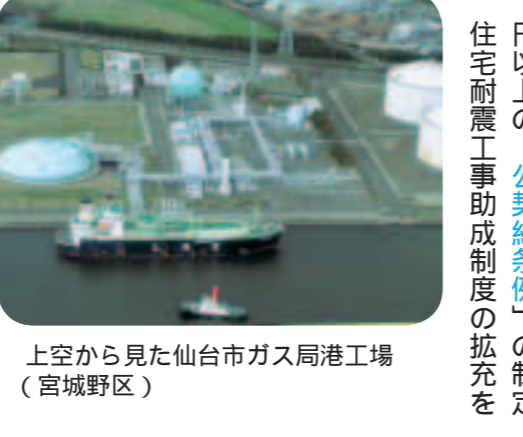
追加的な投資を呼び込む上で重要であり、東北全体の発展を牽引する基盤作りにつながるものとする。今後とも道路等のインフラ整備に積極的に取り組んでいく。
今後の少子化対策及び子育て支援の施策をどう進めるのか
問 ことども宇宙館の施設を利用したのびすく泉中央の整備や妊婦健診助成の大幅な拡大など、子育て支援の施策の強化とかが、今後の少子化対策、子育て支援の施策について伺う。
答 少子化傾向が続く中、「仙台市すこやか子育てプラン」の目標達成に向け引き続き努力するとともに、子育て家庭の負担や不安の軽減を図る効果的な施策に取り組んでいきたい。
また、来年度策定する「(仮称)

日本共産党

福島 かずえ 議員

問 公共工事での元請・下請関係を通正化し、地元業者や資材の活用と労働者の適正な労賃を実現させる元請への指導を強化せよ。
答 工事を受注した元請業者に、適正な施工体制の確立と建設労働者の雇用条件等の改善について、文書で具体的に明示して指導を行っている。今後はさらに他の自治体における方策についても

問 ガス事業民営化・売却は市民の損失
答 国内最大で最良の公営企業
国内最大で最良の公営企業
国内最大で最良の公営企業
国内最大で最良の公営企業



上空から見た仙台市ガス局港工場(宮城野区)

公明党

嶋中 貴志 議員

問 平成二十年若手・宮城内陸地震のように道路の寸断等陸上交通が遮断されるような災害が発生した場合に、自衛隊ヘリコプターによる救援活動が必要不可欠になると思われる。災害対策のプロである自衛隊の能力を最大限に生かすために、現在、どのように自衛隊との連携・対策をとっているのか伺う。
答 大規模な災害発生時には、自衛隊による災害援助活動は地方自治体にとって重要な支援になるものと認識しており、必要不可欠であると考え。本市と自衛隊とは、それぞれが行う各種訓練に相互に参加する等、連携の円滑化に努めており、今後も災害時の協力体制を強化してまいりたい。



若手・宮城内陸地震における自衛隊ヘリコプターによる被災した住民の搬送(写真提供:防衛省)

問 市民一人ひとりが日頃から危機意識を高め、地域の防災リーダーを育成するために、体験・学習の場としての防災センターの整備が必要と考えるが、いかがか。
答 防災センターは市民の防災の意識啓発や防災学習の拠点として有効な施設と認識しており、様々な災害から学んだ貴重な教訓を生かし建設の方向で検討したい。その他の主な質疑項目
ガス事業民営化における具体的対応と市民優先の発行
卸町地区計画による街づくり
建設関係費用値上りによる「単品スライド条項」の適用
道路特定財源の一般財源化について
市長の所見



問 宮城県から仙台市に移管される宮城陸上競技場は、管理運営
答 移転は、費用削減効果や実現可能性等について十分に確認し、利用者の皆様などのご意見を踏まえて、適切に判断していきたい。その他の主な質疑項目
平成二十年若手・宮城内陸地震から何を学ぶか
観光の風評被害を最小限に食い止めるための具体的な策は
原油価格が市民生活や市政に与える影響および学校給食に及ぼしている影響・対策は
保育施策とワークライフバランス
学校給食にも影響が及ぶ原油価格の高騰